

# 病児室だより

R2年10月第4号



暑い夏の季節から、急な朝・晩の冷え込みで肌寒さを感じるこの頃  
辺りの山々も紅葉が色づき始めました。もうすっかり秋ですね。  
夏の疲れは出ていませんか？季節の変わり目は、衣服の調整がうまくい  
かなかったり、食材の変化で、体調の崩しやすい時季でもあります。  
寒さに負けず、体調に十分に気を付け、食欲の秋・スポーツの秋など様々な  
秋を楽しみ、元気に過ごしていきましょう！

涼くなってからも  
食中毒に注意！！



食中毒と聞くと梅雨の時期だったり、暑い季節かなと思う方が多いと思います。  
9月29日に埼玉県にある中学校で、生徒・職員146名が腹痛や下痢などを訴え、  
病院へ…。その内19名より「ウェルシュ菌」という細菌が検出されました。  
給食のお弁当を詳しく調べているとのことでした。

「ウェルシュ菌」について

症状＝水様性の下痢・軽度の腹痛 潜伏期間＝6～18時間  
原因＝食肉、魚介類及び野菜類を使用した煮物や大量調理食品



(中心部に酵素がない状態)が原因となりやすく、スープ・カレー・シチュー、  
冷やし中華のたれなど鍋底のような酸素が少ない環境で増殖します。  
菌の特徴＝酸素がないところでも増殖が可能、100℃で6時間の加熱にも耐  
える芽胞形成。(芽胞は非常に熱に強い性質をもち、加熱に耐えます。)

潜伏場所＝健康な人や動物の腸内など自然界に幅広く生息している細菌です。  
以前から、2日目のカレーは、おいしいといわれていますが、翌日までカレーを  
保存したい場合は、菌が繁殖しやすい温度帯(20～50℃程度)に放置せず、  
出来るだけ素早く粗熱をとって、冷凍保存をお勧め致します。  
気温が下がり、じゃが芋もおいしくカレーの時期でもありますが  
涼しくなってきた時こそ一番注意が必要です。

食品の取り扱いに注意しながら、おいしく・楽しく食事を摂りましょう！



## 秋に多い感染症



### RSウイルス感染症

感染年齢 … 新生児(生後1ヶ月未満)、0歳児、1歳児  
経路 … 飛沫感染、接触感染  
症状 … 感染力が強く、感染しても症状が軽い(鼻風邪程度)場合がある。



予防方法 … 手洗い、マスク装着

### 腸管出血性大腸菌感染症

感染年齢 … 0歳～4歳児  
経路 … 経口感染(腸管出血性大腸菌によって汚染された食材や水分を摂取)  
症状 … 感染後3～5日間の潜伏期間を経て激しい腹痛を伴う頻回の水様性  
の下痢が起こり、そのあとで血便となります。(出血性大腸炎)発熱は  
軽度です。血便は、初期段階では、少量の血液の混入で始まりますが  
次第に血液の量が増加し、血液そのもののような状態となります。  
予防方法 … 牛の生肉、生レバーを食べない。火の通ってない食材を取り  
扱ったり、食べたりする際は、別けて盛り付けたり、はしを使い  
分けること。



### 子どもの鼻かみについて

幼い子どもに鼻のかみ方を教えるのは意外と難しいもの。「鼻水ぐらい」と気楽に構えて放っておくと中  
耳炎や副鼻腔炎など、新たな病気を引き起こします。  
します。遊びを取り入れながら子どもと一緒に鼻の  
かみ方を練習してみてもいいでしょう？

『親子で鼻息を使ってティッシュの飛ばしっこ競争』  
です。子どもは張り切って挑戦します。うまく出来なくて  
も、褒めたりおだてたりしながら楽しんでみてください。



インフルエンザ予防接種の時期となります。早めの接種をお勧めします！

### 9月・10月病児保育利用状況

9月＝利用7名利用でした。感冒・突発性発疹での利用となっています。  
10月は、20日現在3名でした。感冒での利用となっています。

特定非営利活動法人 オープンハウスこんぺいとう  
病児室 TEL0233-29-2301

